

個人線量計測定結果報告書(案)

栃木県

コード 123-4567-890

所属 栃木県保健福祉部

健康増進課

サンプル 01

使用期間 2012-01-23 ~ 2012-03-22

あなたの測定結果について、有識者会議からの評価を御報告いたします。

測定結果

今回の測定2ヵ月間にあなたが受けた追加外部被ばく線量は、

0.2ミリシーベルト

今後、1年間(12ヵ月)に受ける追加外部被ばく線量は、

0.2(2ヵ月) × 6 = 1.2 ミリシーベルトと推測されます

追加外部被ばく線量は、2ヵ月間の累積被ばく線量から、大地及び宇宙線の一部の自然放射線分(2ヵ月で0.09ミリシーベルト)を差し引いた線量です。

放射線による健康影響に関する有識者会議からの評価

- ・福島第一原子力発電所事故前の年間被ばく線量(宇宙線、大地、食物、ラドン等の自然放射線量)は、年間約1.5ミリシーベルトでした。今回の個人線量計の測定結果から、今後の年間被ばく線量(追加外部被ばく線量と事故前の年間被ばく線量)は2~4ミリシーベルト程度と推測できます。
- ・あなたの今後の年間被ばく線量は、以下のとおりに推測されます。

あなたの測定結果 (追加外部被ばく線量 2ヵ月間分) 単位:ミリシーベルト		推測される今後の年間被ばく線量 追加外部被ばく線量(左欄×6) +事故前の年間被ばく線量(1.5) 単位:ミリシーベルト		参考: 世界の年間自然放射線量 「国連科学委員会2000年報告書」より											
				被ばく線量 (ミリシーベルト)	1.5未満	1.5~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10以上
	0.1未満	2.1未満	(0.6未満+1.5)	日本	←→										
	0.1	2.1	(0.6+1.5)	中国(香港)	←→										
○	0.2	2.7	(1.2+1.5)	マレーシア	←→										
	0.3	3.3	(1.8+1.5)	オランダ	←→										
	0.4	3.9	(2.4+1.5)	ブルガリア	←→										
				イタリア	←→										

世界平均は 2.4ミリシーベルト

- ・今後環境中の放射性物質は、物理学的半減期による減衰や除染、風雨などの自然要因による風化等により減少するため、追加被ばく線量は時間とともに低下していくと考えられます。

外部被ばく線量 調査全体結果

今回の測定では、約3,000人の方の御協力をいただきました。

全体の線量分布(2ヵ月間)は右図のとおりです。

